

がん診療と口腔ケア

がん治療に伴う口腔有害事象は、経口摂取の低下や味覚障害・嚥下困難による栄養不良につながり、QOLの低下や副作用を悪化させる恐れがあります。こうしたことから、口腔ケア技術を向上し、がん治療に伴って起こる口腔内のさまざまな合併症を減らしていく必要があります。

今回のセミナーでは、口腔ケアの基本をはじめ、抗がん剤治療や放射線治療など、治療過程において発生する口腔内の障害に対するケアの方法について、専門スタッフが解説します。

－ プログラム －

- はじめに 成人病センター歯科口腔外科 科長 津田 善造
- 講演① 「口腔ケアとは？」
成人病センター歯科口腔外科 野井 将大(歯科医師)
- 講演② 「がん診療における口腔ケアの手順」
成人病センター歯科口腔外科 和氣 正和(歯科医師)
- 講演③ 「ビスフォスフォネート製剤と顎骨骨炎」
成人病センター歯科口腔外科 富森 伸一郎(歯科医師)
- 講演④ 「口腔ケア用品の選び方」
成人病センター歯科口腔外科 中谷 彩絵(歯科衛生士)
- 講演⑤ 「化学療法と口腔ケア」
成人病センター看護部 高野 智代美(がん化学療法看護認定看護師)
- 講演⑥ 「放射線療法と口腔ケア」
成人病センター看護部 掛谷 理恵(がん放射線療法看護認定看護師)



2013年 2月 21日(木) 18:00～19:30

- 会場：滋賀県立成人病センター 研究所講堂
【住所】守山市守山5-4-30
【交通】JR守山駅からバス約10分
- 対象者：医療従事者・医療関係者
- 定員：150名(当日先着順)
- 申込不要・参加費無料・駐車場無料(受付で無料化します)

主催：滋賀県立成人病センター / 共催：滋賀県薬剤師会
後援(予定)：滋賀県歯科医師会、滋賀県歯科衛生士会、滋賀県放射線治療連絡協議会
※今回のセミナーは、日本医師会生涯教育制度指定講習会(1.5単位)申請中です。

